

額田の 城下町

特集『額田城筆頭家老、大窪采女』 P1~2

額田城跡保存会総会 P2

市長懇談会 P3

木橋の名称決定、活動の記録 P4

写真：大窪城跡より北西の空（日立市大久保町）

特集

『額田城筆頭家老、大窪采女』

おおくぼ うねめ

伊達政宗から密書が届いて一躍有名となったのは、額田城主小野崎照通であるが、今回の主役は、小野崎照通の家臣、額田城の筆頭家老「大窪采女」である。前会報（34号）にて額田城と石神城の合戦を話題にした。その時の額田軍打手の大将となっていたのが大窪采女（大久保采女正通忠）だ。

大窪采女は、大窪城（日立市大久保町）七代城主大窪駿河守種光の弟で、額田城主小野崎照通に仕える六大将の内筆頭家老の要職につき軍略家として有名な武将であった。

天正一七年に佐竹氏が水戸城主の江戸氏を攻め滅ぼし、江戸氏の一族であった額田城主小野崎照通も攻略しようとしたが、額田方の守りが堅く容易に攻めることが出来なかった。これには額田方の軍略家として采配を振るった大窪采女がいたことが無敵額田軍となった第一の要素であった。

天正一八年十月、太田城主佐竹義宣は大軍を率いて額田城を取り囲んだ。しかし、又しても頑強な抵抗により退けられた。大窪采女が額田軍の采配を振り軍師として佐竹氏を窮地に追い込み、敵を恐

れさせていたのである。さすがの佐竹義宣も困惑し豊臣秀吉に訴え出て、石田三成の書をもって額田城開城を迫った。額田方はその使者を追い払って額田城開城を受け入れなかった。佐竹義宣は、近隣の諸城主に出軍を命じ自らも大軍を率いて戦いの火ぶたを切った。佐竹軍と額田軍は大激戦を展開したが、多勢に無勢、ついに野上河原の戦いで額田軍は敗れた。

野上河原の戦いに敗れて額田城が落城する際、額田城主小野崎照通と大窪采女は主従の縁を断ち、大窪采女は甥の大窪城八代城主大窪久光の客分として故郷に戻り、額田城主小野崎照通は命からがら陸奥に逃れた。

ここで疑問となるのは、なぜ額田筆頭家老である大窪采女が額田氏と縁を断って故郷に戻ったのか。なぜ小野崎照通と行動を共にしなかったのかである。それは、小野崎照通と大窪采女は近親関係にあったからようだ。大窪采女の兄、大窪城七代城主大窪種光の妻は小野崎照通の姉であった。小野崎照通にとって姉の夫の弟をむざむざ自分と運命を共にさせてしまうことを惜しみ悲しんだ

「額田城跡保存会・那珂市長懇談会が開催されました。」

7月6日（水）に額田地区交流センターにて額田城跡保存会・那珂市長懇談会が開催されました。

額田城跡本丸の市買収時期や本丸・二の丸の整備作業業者委託の要望などについて話し合われましたので、以下のとおり懇談会の内容をお知らせいたします。

【額田城跡本丸の市の買収は可能であるかどうか。可能であれば買収時期はいつ頃になるのか。】

額田城跡保存管理計画により現状を後世に正しく伝えていく方針のもと管理計画ができており28年度に計画の期間が満了するので計画の見直しを含めて29年度から本丸の買収に入りたいと考えております。28年度は買収にかかる不動産鑑定の委託料を既に当初予算に計上しています。

【年2回程度、造園業者に委託し、本丸・二の丸の整備作業を要望する。併せて管理作業の増額を要望する。】

枝払いとか間伐とかなかなか地元では難しい部分もありますので、そういった部分は生涯学習課にご相談いただければと思っております。財政状況もなかなか厳しいところがありますけれど、城跡保存管理計画見直しのなかでも協議していきたいと考えております。

【県道からの排水路の工事は、いつ頃施工予定であるか。】

既に排水計画と設計案がまとまりました。土木課から地元の方とご協議させていただきたいと考えております。地元地権者の方に計画のご了解を得られれば、今年度は用地の測量に入っていきたいと考えており、測量が済み次第、着工したいと考えております。

【那珂市観光名所ということもあり、観光客が城跡に足を運んでくれているが、谷津田の放棄地を花園にすることでさらに観光の見どころになるのでは。】

阿弥陀寺入ってきて花菖蒲が手入れされている場所あたりだと思うのですが、やはり額田城跡保存管理計画見直しのなかでご意見を出していただきながら考えをまとめていく必要があると思います。

【土地を駐車場として提供してもよいという土地所有者の鈴木様からの申し出は、その後どうなっているか。】

これにつきましては既に平成27年度末に農地転用を含めまして土地の受け入れが済んでいます。今年度につきましては測量と設計をしたいと考えており既に発注済でございます。基本的には駐車場を兼ねた形での整備をしたいと考えており、多目的な利用についても設計の中で十分協議をしながら考えていきたいと思っております。

【閉園となった額田幼稚園の再活用を検討していただけないか。城跡を觀に來た方々のために額田城跡の歴史や城跡に関する資料が常備されたトイレ付の建物があれば願っているが額田幼稚園の再活用をお願いしたい。】

額田幼稚園舎につきましては老朽化も進み耐震化もされていないため本年度に解体をすることで決定しております。解体後の利活用ですが、額田コミュニティ広場検討委員会が立ち上がっておりそのなかで幼稚園の跡地にコミュニティ広場をつくるということで協議がなされたところであります。先月6月に開催されました検討委員会におきまして具体的に駐車場・トイレ・倉庫・広場のような整備をする内容でお示ししたところで更に協議を進めていく状況になってございます。



ためである。野上河原の戦に敗れるや、小野崎照通は大窪采女に対し、「このようにならなってしまうが今まで仕えてくれて感謝する。これから暇を出すことになるが、これまでのこと決して忘れない。今後のため一筆書き置く。」と書状を残している。

小野崎照通は、陸奥にて数年を過ごし、越後の徳川上総介（松平忠輝）に仕えたが国が改易となり再び浪人、元和四年、水戸徳川頼房に御側同心頭として召し抱えられた。

元和九年と寛永三年、水戸徳川頼房の御供で上洛したおり、小野崎照通は与力六騎、同心五十人を抱えるよう命じられた。この時、与力を額田在城当時に武功のあった重臣でそろえ、与力の筆頭は大窪采女であった。小野崎照通と大窪采女の主従関係は徳川の世においても続いていたのである。寛永七年に小松崎照通が没すると大窪采女は再び故郷に戻り、以後、水戸徳川に仕えることなく一農民として世に出ず祖先一族の冥福を祈って余生を送った。

大窪采女は、寛永一十八年十二月八日、八十九歳で没した。その墓地は現日立市大久保町、大窪城より北西方、新常光寺跡にある。

最後に、大窪家に伝わる采女申し置きの家訓を紹介して終わる。

采女申置ノコト

一、世二出ルナ

一、家ヲ改築スルナ

一、土地ヲフヤスナ

一、山ノ手入レヲ忘ルナ

一、小ヅカヒニハ木ヲ充テヨ

参考文献

「大窪城主とその一族」

宮田實 編



大窪采女墓碑（新常光寺跡）

総会が開催されました。

平成28年4月16日（土）額田城跡公園二の丸にて平成28年度額田城跡保存会総会が開催され、平成27年度活動事業報告・決算報告及び平成28年度活動方針案・予算案は全て原案どおり認定・可決しました。

（収入の部）

項目	予算額（円）	決算額（円）	差引増減（円）	摘要
前年度繰越金	130,807	130,807	0	
年会費	80,000	77,000	△3,000	77戸×1,000円
賛助会費	65,000	63,000	△2,000	63戸×1,000円
助成金	0	0	0	
雑収入	30,000	21,056	△8,944	小山とし子様、中原正勝様、船橋保（特別会員）
合計	305,807	291,863	△13,944	

（支出の部）

項目	予算額（円）	決算額（円）	差引増減（円）	摘要
会議費	30,000	21,883	△8,117	昼食代、会場借用代、茶菓子代、他
事業費	230,000	180,109	△49,891	機材借用代、鎌、インク代、園芸資材、他
事務費	25,000	12,949	△12,051	事務用品、切手、他
予備費	20,807	0	△20,807	
合計	305,807	214,941	△90,866	

（収入合計）291,863円－（支出合計）214,941円＝（差引残高）76,922円

差引残高の76,922円は、平成28年度に繰り越します。

活動の記録

- 2/24 会報発行 第34号
- 3/19 奉仕作業中止（雨天のため）
- 3/30 視察研修 「石神城跡と春の五浦巡り」
計20名参加
- 4/16 奉仕作業及び総会 保存会 計20名参加
（来賓 成田昭夫様、根本課長、仲田館長）
- 4/30 みそはぎ植樹 保存会 計5名参加
- 5/23 花壇作り 保存会 計8名参加
- 5/25 花植え 保存会 計4名参加
- 5/28 奉仕作業 保存会 計16名参加
- 6/18 奉仕作業
第2自治会、第5自治会、はなみずき、
三好会、保存会 計61名参加
- 7/2 奉仕作業 保存会 計13名参加



（奉仕作業6/18）

【木橋の名称が決定しました。】

額田城から阿弥陀寺の間に架かる木橋の名称は、阿弥陀寺付近の小字である「片庭」にちなみ「片庭橋」に決まりました。

かたにわばし

名称：片庭橋



【今後の奉仕作業】

8月20日（土）8：00～10：00

9月17日（土）8：00～10：00

10月15日（土）8：00～10：00

11月19日（土）9：00～11：00

12月17日（土）9：00～11：00

1月 奉仕作業休み

2月 奉仕作業休み

3月11日（土）9：00～10：00

※作業内容は、二の丸花畑の手入れ、芝生内外の除草、遊歩道の清掃や安全点検などです。

※8月20日（土）は、社会福祉協議会主催「夏のボランティア体験」も行われます。詳しくは、那珂市社会福祉協議会へ TEL029（229）0309

編集後記

阿弥陀寺からの木橋の名称が決まり、額田の名所がまた一つ増えた気分ですね。
皆様の地道な活動に深く感謝いたします。